

解説

小澤 実

夢解釈』（勁草書房、二〇一三年）、菊地原洋平『バラケル
ススと魔術的ルネサンス』（勁草書房、二〇一三年）とい
った初期近代占星術の専門書を読み解くにあたって、確
かな指針となるだろう。

本稿は、『ケンブリッジ版科学史第三巻 初期近代』（ケ
ンブリッジ大学出版会、二〇〇六年）に収録された、H・
ダレル・ラトキン博士（Dr. H. Darrel Rutkin）による「占
星術 Astrology」の全訳に、原著刊行以降の新文献を含め
た、博士による若干の補遺修正を加えたものである。わた
したちはすでにS・J・テスター（山本啓二訳）『西洋占
星術の歴史』（恒星社厚生閣、一九九七年）という基本書
を日本語で手にすることはできるが、西洋占星術史の権威
であるラトキン博士による中世後期から近代に至る西洋占
星術の概観は、このテスターの記述からより踏み込んだ、
現時点でわたしたちが入手できる最良の見取り図である。
いわゆるワールブルク関係書他、アンソニー・グラフトン
（榎本恵美子・山本啓二訳）『カルダーノのコスモス ルネ
サンスの占星術師』（勁草書房、二〇〇七年）、榎本恵美子
『天才カルダーノの肖像 ルネサンスの自叙伝、占星術、

著者のH・ダレル・ラトキン博士は、スタンフォード
大学やネヴァダ大学で教鞭を執った後、現在エアラン
ゲン大学のプロジェクト研究員として研究に専念してい
る。彼はテキサス大学オースティン校で古典学を修めたの
ち、スタンフォード大学で修士号を、二〇〇二年にイン
ディアナ大学で博士号を取得した。博士論文のタイトル
は『占星術、自然哲学、科学史、一二五〇年から一七〇〇
年。ピーコ・デッラ・ミランドラ』『予言占星術駁論』の
解釈をめぐる研究』(Astrology, Natural Philosophy and
the History of Science, c. 1250-1700: Studies Toward
an Interpretation of Giovanni Pico della Mirandola's
Disputationes adversus astrologiam divinatricem) であ
り、現在、この博士論文の検討に基づく『予言占星術駁論』
の英訳と西洋占星術史の大部のモノグラフ『科学革命の再
構成。占星術、魔術、自然知、一二五〇年から一八〇〇年』
(*Reframing the Scientific Revolution: Astrology, Magic
and Natural Knowledge, ca. 1250-1800*)を準備中である。

博士は、二〇一三年七月二〇日に学習院女子大学において、科学研究費基盤研究B「西欧ルネサンスの世界性と日本におけるキリシタンの世紀」（研究代表者根占猷一）の一環として開催された国際会議「ルネサンス文化とキリシタンの世紀」の報告者として来日された。その滞在中、科研企画とは別に、大阪大学（七月二四日）と立教大学（七月二六日）で、本稿を要約した講演もしていただいた。立教大学では、立教大学文学部主催の公開講演とし、同時期に来日していたヒロ・ヒライ博士（ナイメーヘン大学）に司会をお願いし、またたまたま足を運んでいただいた赤江雄一博士（慶應義塾大学）に急遽質疑応答を通訳していたなどという贅沢な環境を用意することができた。クレア・ヒライさんの美しいポスターやウェブ上での宣伝効果もあってか、四〇名規模の部屋に六〇名以上の聴衆が詰めかけ、講演後も、終了予定を一時間近く超過する活発な質疑が提起された。講演はリアルタイムでウェブ上でも放送された。こちらも多くの方が視聴してくださったようである。

ラトキン博士は博学で誠実な学者であると同時に、たいへん快活な方である。斯界においては一流のエスタブリッシュメントでありながら、みずからも占星術をおこなう実践家でもある（もちろん研究と実践は厳密に区別してい

る）。日本滞在中は占星術研究者の鏡リュウジ氏とトークショーもこなし、懇親会でもオフでもすぐに皆と打ち解け、硬軟取り混ぜたウィットの効いた話で場を盛り上げるエンターテイナーであった。

翻訳を担当したのは菊地重仁博士（東京大学博士研究員）である。菊地博士に深謝するとともに、翻訳許可をいただいたラトキン博士ならびにケンブリッジ大学出版会にも御礼を申し上げたい。なお、本文のチェックには、本務で忙しい中、占星術史研究にとつて不可欠の校訂本を手がけてきた山本啓二教授（京都産業大学）、そのほか何人かの手を煩わせた。心より御礼申し上げたい。なお立教大学の博士の公開講演会は、小澤も研究分担者をつとめる平成二四年度立教大学SFR「ドイツ民族主義宗教運動」の学際的ならびに国際的研究基盤の構築」（研究代表者前田良三）の援助を得て行われたこともここに記しておく。

（本学文学部准教授）

公開講演会

ヨーロッパ史のなかの占星術 中世・ルネサンスから近代へ

ASTROLOGY

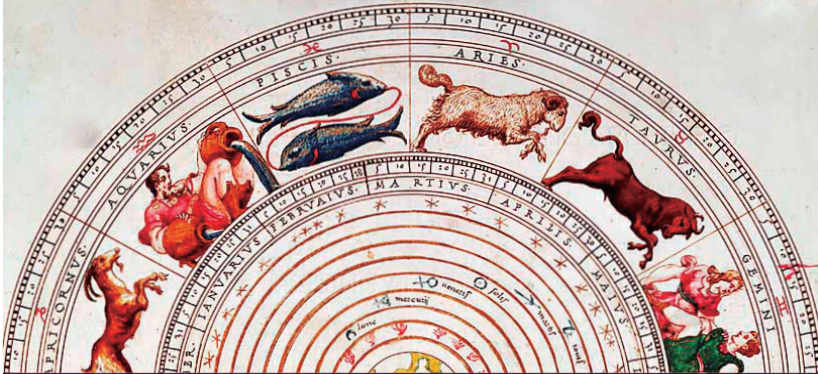
IN THE MIDDLE AGES, THE RENAISSANCE
AND EARLY MODERN EUROPE: A REAPPRAISAL

講演者

ダレル・ラトキン博士(スタンフォード大学&ネヴァダ大学)
Dr. H. Darrel Rutkin
Stanford University &
University of Nevada, Reno (USA)

司会

ヒロ・ヒライ(オランダ・ナイメーヘン大学)
Dr. Hiro Hirai
Radboud University Nijmegen
(Netherlands)



場所:立教大学池袋キャンパス6号館6205教室

日時:2013年7月26日(金曜日)18:15-19:30

主催:平成25年度立教SFR「ドイツ民族主義宗教運動」の学際的ならびに国際的研究基盤の構築」

後援 JAPANESE ASSOCIATION FOR RENAISSANCE STUDIES (JARS)

ヨーロッパ史のなかの占星術
中世・ルネサンスから近代へ(ラトキン)